

投資事業評価調書（事後評価）

部課室名	県土整備部土木局 道路建設課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路建設課長 宮川 耕二 (課長補佐兼橋梁係長 高瀬 陽太郎)	内線	4362 (4378)
事業種目	道路	事業名	道路改築事業 一般国道250号明姫幹線(安田高架橋)		
所在地	加古川市尾上町安田				
事業の目的		事業内容			
一般国道250号明姫幹線のうち、加古川市尾上町安田地区の渋滞の解消、交通の円滑化と安全の確保を図るとともに、騒音等の沿道環境の改善を図る。		安田交差点、安田西交差点、鶴林寺南交差点の高架化 延長:916m 整備前幅員:6.50m(2車線)+6.50m(2車線) 整備後幅員:(本線)7.25m(2車線)+7.25m(2車線) (側道)6.50m(2車線)+6.50m(2車線)			
事業期間			総事業費	32億円	
事業着手	平成9年度	過去の評価	平成10年度	内用地補償費	
事業完了	平成12年度		再評価		
再評価の結果					
全体事業の整備計画に基づき、渋滞の解消、交通の円滑化と安全の確保を図るため安田高架橋および6車線化事業を進めており、早期完了を図る必要性は変わらない。 また、事業完了の見通し(H12年度完了予定)も立っており、事業を継続して進める必要があると判断している。					
事業を巡る社会経済情勢等の変化					
交通量の状況					
事業前(H9)		事業完了後(H13)			
43,890台/日		49,144台/日			
事業の効果等					
1. 再評価時の評価項目					
評価項目	指標	再評価時の予測値	事業前〔H9年〕	事業完了後〔H13年〕	
渋滞の解消	渋滞長(本線)	-	650m	0m	
交通の円滑化	旅行速度(本線)	-	26km/時	63km/時	
安全の確保	人身事故率	-	634人/億台・km	377人/億台・km	
2. その他の事業効果					
有効性					
年間便益					
16.4億円/年		走行時間短縮便益: 15.6億円/年 走行経費減少便益: 0.2億円/年 交通事故減少便益: 0.6億円/年			
(事業完了後(H13年)の交通量で高架橋が無い場合と有る場合の総走行時間費用、総走行経費、交通事故による社会的損失の差を便益とした。)					
環境の変化					
沿道における騒音レベルの変化					
昼間3dB低減(整備前		68dB	整備後 65dB)		
夜間7dB低減(整備前		66dB	整備後 59dB)		